

High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い -- ELF/DWARF2ロードモジュールのデバッグ時の 不正なソース行アドレス表示について --

統合開発環境High-performance Embedded Workshop の使用上の注意事項を連絡します。

- ELF/DWARF2ロードモジュールのデバッグ時の不正なソース行アドレス表示について

1. 該当製品

以下の製品に含まれているHigh-performance Embedded Workshopが該当します。

- (1) SuperH RISC engineファミリ C/C++コンパイラパッケージ
R0C40700XSW08R
P0700CAS7-MWR
- (2) H8SX, H8S, H8ファミリ C/C++コンパイラパッケージ
R0C40008XSW06R
PS008CAS5-MWR
- (3) E10A-USBエミュレータ
HS0005KCU01H
HS0005KCU02H
- (4) E7エミュレータ
HS0007TCU01H
- (5) E6000Hエミュレータ
HS7058EPH60H
- (6) E6000エミュレータ
HS3664EPI62H
- (7) E10Aエミュレータ
HSxxxxKCM01H
HSxxxxKCM02H
(つまり、すべてのE10Aエミュレータ)

- (8) E10Tエミュレータ
HS3048BTCM01H
HS3048BTCI01H
- (9) E200Fエミュレータ
R0E0200F0EMU00
R0E0200F0ETU00
R0E0200F0EPU00

2. 内容

ELF/DWARF2フォーマットで作成されたロードモジュールをダウンロードし、ソースウィンドウ上でソースファイルを表示させた場合、プログラムの書かれていない行に対して不正なアドレスが表示されることがあります。

注意：プログラムが書かれている行に対しては正しいアドレスが表示されます。

3. 対応策

不正なアドレスは無視してください。

4. 恒久対策

High-performance Embedded Workshopの次期バージョンアップの際に、改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。